



これまでの環境保全・創造の取り組み

- (1) 御島海域での取り組み
- (2) アマモ場を通した環境学習
- (3) 鳥類休息場の整備



(1) 御島海域での取り組み

御島海域の覆砂・作滯



覆砂
作滯

覆砂

<平成9~11, 17年度>

面積: 15.6ha

厚さ: 0.3m

作滯

<平成10, 12~13年度>

延長 1,300m

幅 30m

深さ 1.5m

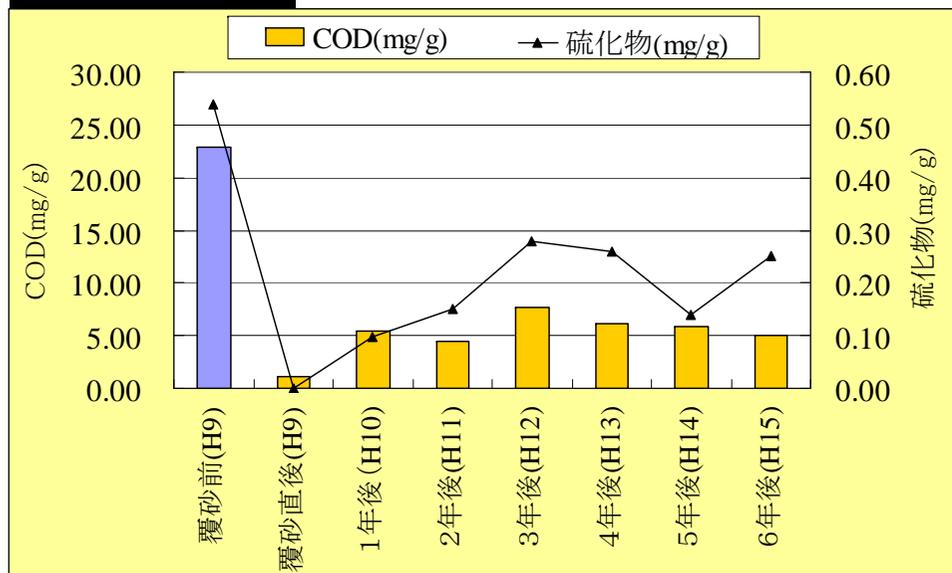
(1) 御島海域での取り組み

覆砂・作濬による効果



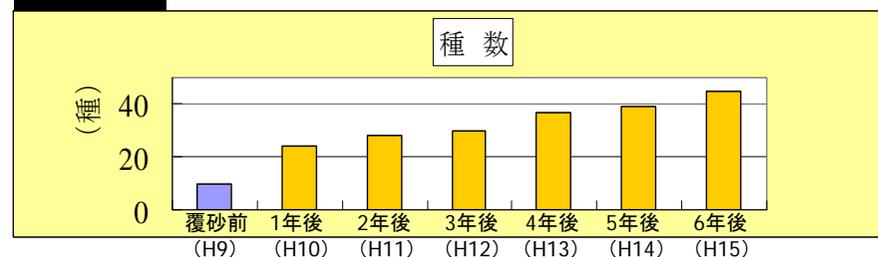
底質調査結果

COD・硫化物

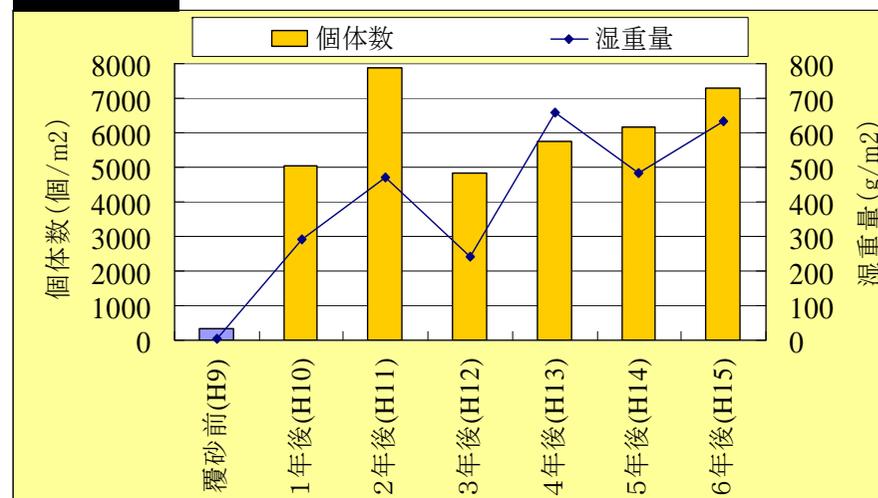


生物調査結果

種数

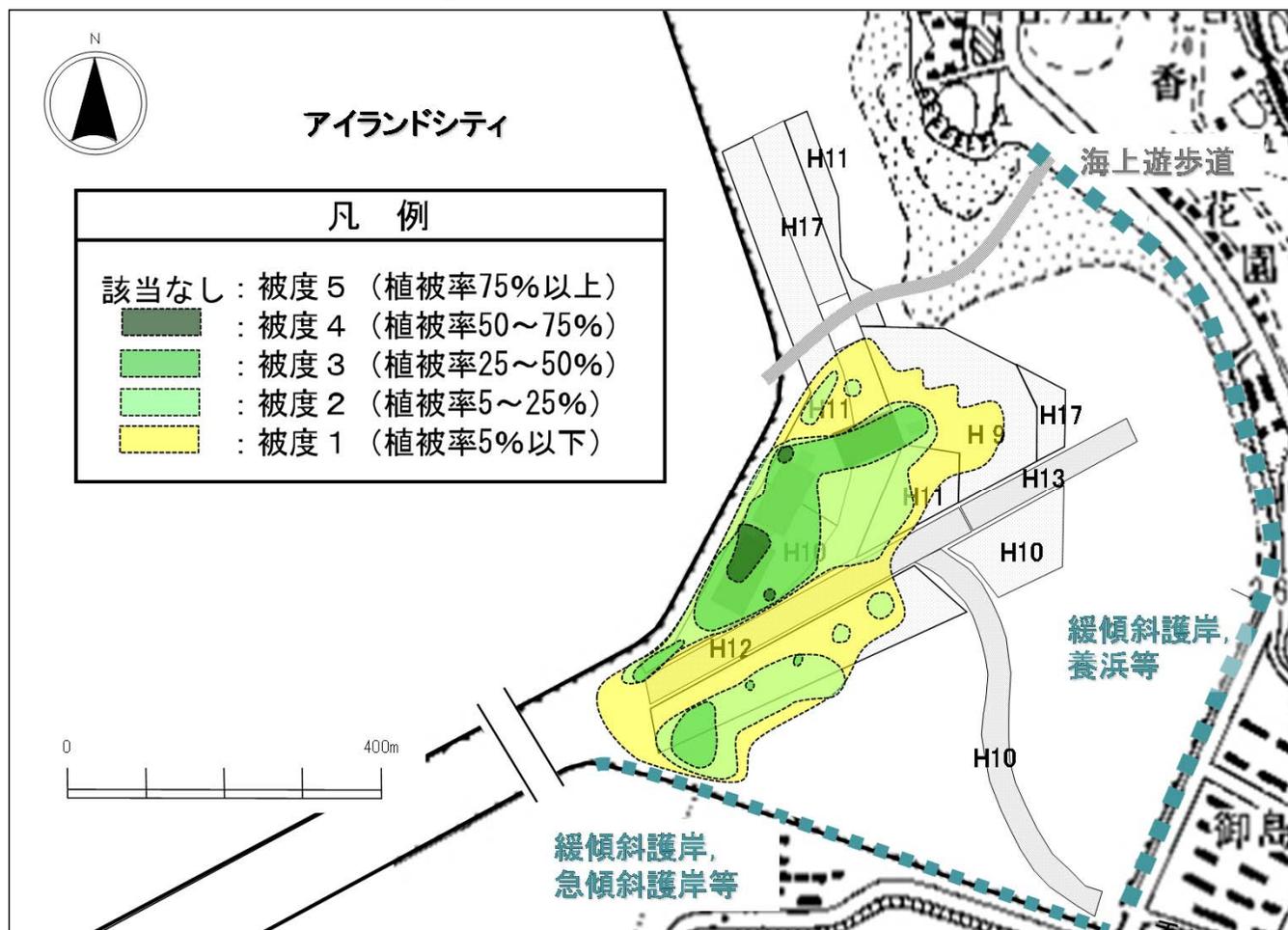


個体数



(1) 御島海域での取り組み

アマモ場の自然拡大



- 当初造成面積の**約20倍**に自然拡大 (平成24年度アマモ場生育状況調査)
(播種シート面積: 約2,650m² → アマモ場面積[被度2以上]: 約55,000m²)

(2) アマモ場を通じた環境学習

地元の小学校と連携した環境学習

アマモの一生と学習の流れ

3月 第3回



大きくなったアマモの苗



育てたアマモを海底に植えます



ゴール

アマモ場づくり体験学習 スタート

6月 第1回

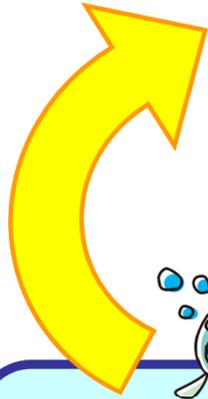


種が落ちる前にアマモを収穫します



みんなで花束を作りました。(6/14)

花束づくり



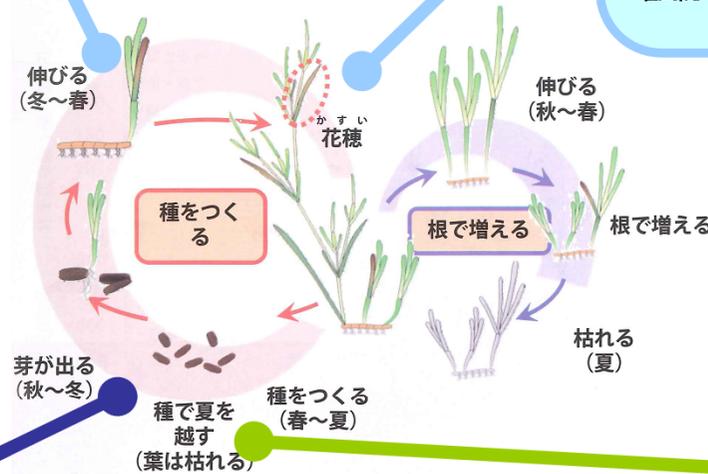
11月 第2回



アマモ種子シートづくり



ポット苗づくり



8月



水槽を海の中と同じ環境にして、茎や葉を腐らさせます



「腐った茎や葉」と「アマモ種子」



腐った茎や葉を洗い流して種子を取り出します

(2) アマモ場を通じた環境学習



(2) アマモ場を通した環境学習



(2) アマモ場を通じた環境学習



(3) 鳥類休息場の整備

フロート・石組みの設置

野鳥公園予定地前面のフロート



平成21年設置 (20m × 3m: 1基)



平成22年設置 (20m × 3m: 2基)

石組み



香住ヶ丘



名島海岸

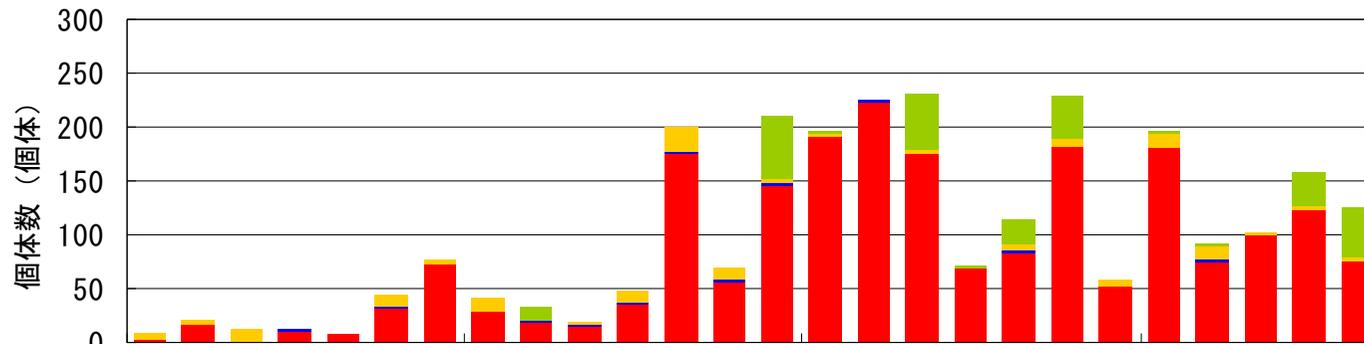
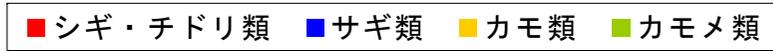
(3) 鳥類休息場の整備

フロートの利用状況

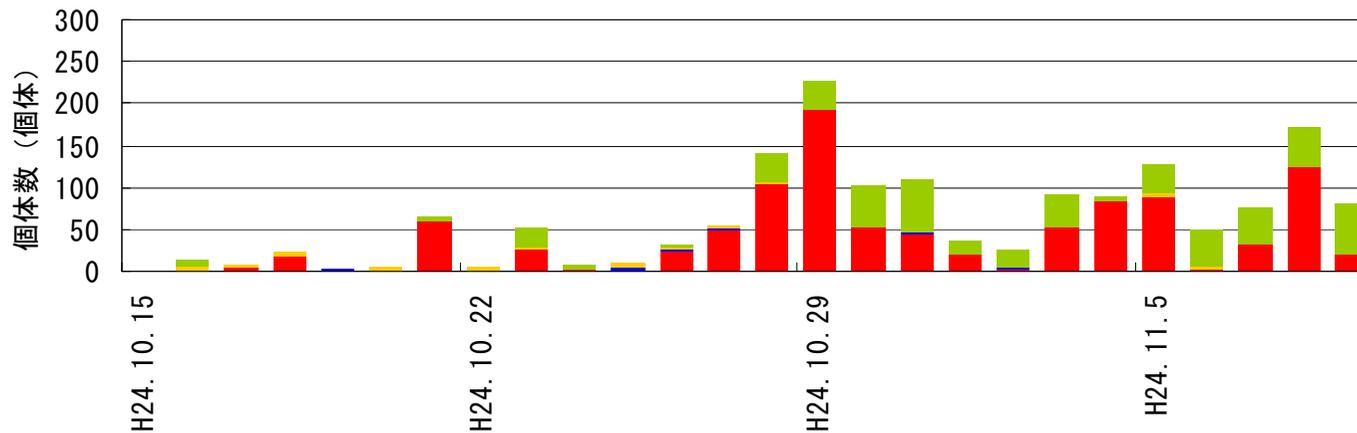


フロートで休息するハマシギ

21年設置フロート



22年設置フロート



(3) 鳥類休息場の整備

石組みの利用状況



石組みで休息するキアシシギ・チュウシャクシギ

確認された鳥類	行動・利用特性(休息)
シギ・チドリ類	満潮時に冠水しない岩礁や堤防, フロートのような構造物と同様に, 休息場として利用
サギ類	干潟や護岸, 岩礁等と同様に, 休息場として利用
カモ類	周囲の水面や陸上と同様に, 休息場として利用
ウ類	周囲の水面や岩礁と同様に, 休息場として利用